

4 人口減少下での地域の活力確保 ～確かな暮らしの実現～



【基本目標 4】

人口減少下でも生活に不可欠なサービスを提供できる地域構造を構築することにより、暮らしの安心と地域の活力を確保します。

主な取組

成果

(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築

○生活サービス・交流機能を提供する
小さな拠点形成のためのセミナーや
研究会の開催(H27年度～)

○県営水道事業における地域への貢献

○「信州まつもと空港の発展・国際化に
向けた取組方針」(H28年6月)に
基づく取組の推進

今後10年間の取組の「4本柱」

- ①国内路線の拡充
- ②空港の国際化
- ③観光・賑わいの拠点としての活用
- ④空港施設の機能等の強化



○小さな拠点形成

H30.3.31現在48か所

〔 目標
H31
40か所 〕

○過疎自治体(天龍村)の簡易水道に係る
事務の代替執行を開始 (H29年4月～)

○高齢者元気応援システム
(ASA System-KIZUKI) の実証実験を
開始 (H29年9月～)

- ・対象地区 坂城町
- ・内 容 産学官による水道メーターを活用した高齢者見守りシステムの運用

○14年ぶりに13万人を超える利用者数
(H29年度)

- ・札幌(丘珠)線の運航(H30.8.8~8.31)決定

○約2年ぶりに国際チャーター便就航

- ・韓国、台湾、ロシア、カンボジア 計14便
(H29年度)

(2) 信州に根付くつながりの継承

- **人生二毛作社会づくりの推進**
 - ・シニア活動推進コーディネーターによるシニアと関係機関等とのマッチング支援
⇒高齢者の居場所づくりや信州こどもカフェの取組等にシニアが担い手として参画
 - ・人生二毛作実践事例集を作成
好事例を県内全域に横展開
- **「長野県みらいベース」の運用**
(H25年4月～)
 - ・県民や企業からの寄附により地域の暮らしや活性化を支えるNPO等の活動を支援
- **(一財) 長野県文化振興事業団に芸術監督団 4 名配置**

【舞台】	串田 和美氏
【音楽】	小林 研一郎氏
【プロデュース】	津村 卓氏
【美術】	本江 邦夫氏

- **コーディネーター相談対応件数**
3,512件 (H29年度)
- **シニアによる高齢者や子どもの居場所づくり**
高齢者：13か所
子ども：3か所 (H30年3月)
- **「長野県みらいベース」への寄附受領額**：21,802千円 (H29年度)
- **「長野県みらいベース」による助成団体数**：66団体 (H29年度)
- **文化芸術による人づくりの推進と文化芸術に親しむ機会の拡大**
「シンビズム展」等4事業
参加者数：6,445名 (H29年度)

(3) 地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現

- **「信州ACE (エース) プロジェクト」の推進**

・SNS、テレビなど様々な媒体を活用した情報発信

・ACE弁当・メニューの提供店舗の増加

・セミナー開催など健康経営を普及

・裾花川ウォーキングロード等の整備

- **地域包括ケア体制の構築を推進**

地域ケア会議での活発な議論



- **在宅医療連携体制の構築を推進**

- **医師の確保・定着を総合的に実施**

- **県民の健康づくりの意識の広がり**

ACE ネット参加団体数
197団体(H28.3)⇒217団体 (H30.3)
フェイスブック記事配信件数
28,961件(H28.3)⇒208,809 (H30.3)

- **ACE弁当・メニューの提供店舗**

869店舗 (H28年度末) ⇒878店舗 (H29年度末)

- **健康経営に取り組む企業の増加**

健康経営優良法人 認定法人
30社 (H28年度創設)
健康づくりチャレンジ宣言企業
64社(H28.3)⇒268社 (H30.3)

- **全ての日常生活圏域 (155か所) に地域ケア会議設置**

- **在宅での看取りの割合 全国5位**
(H28:22.9%)

- **就業医師の増加**
ドクターバンクにより116名の医師が就業
(H29年度末まで累計)

数値目標の進捗状況

*進捗区分 ●「A」：目安値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗
 ●「C」：80%未満の進捗 ●実績値なし：今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値：各年の目標値

県民一人当たり公共交通機関利用回数 <small>(企画振興部調) 【備考】 県民がバスや鉄道などの公共交通機関を利用した一人あたりの回数 [現状を上回る数値を目標として設定]</small>	年度	単位	基準値 (H25年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H30年度)
	目安値	回/人		48.5	49.0	49.3	49.6	49.9
	実績値		48.2	47.5	50.4	50.0		
	進捗区分			C	A	A		

健康寿命 <small>健康寿命の算定方法の指針等(厚生労働科学研究班)により長野県が算定 【備考】 日常生活動作が自立している(要介護度1以下)期間の平均 [現状を上回る数値を目標として設定]</small>	年	単位	基準値 (H25年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
	目安値	年		男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上
	実績値		男性:	79.83	80.45	80.54	—	
			女性:	84.35	84.82	84.60	—	
進捗区分			A	A	実績値なし			

進捗状況の分析

- 「県民一人当たり公共交通機関利用回数」については、北陸新幹線開業(平成27年3月)や善光寺御開帳(平成27年4月～5月)の反動減等により前年度より減少しましたが、NHKドラマ真田丸(平成28年1月～12月)や御柱祭(平成28年4月～5月)等の効果もあり、目安値を上回りました。
- 健康寿命については、平成29年の値は基礎資料が未公表のため算定できませんが、平成28年の値を見ると、目安値を上回っています。
- 今後の取組として、市町村や事業者等への支援を行い、生活を支える地域交通を確保していくとともに、地域の健康課題を「見える化」し、市町村と共有するなど、県民一人ひとりの主体的な健康づくりの取組を一層促進します。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」:目安値以上 ●「B」:80%以上100%未満の進捗
 ●「C」:80%未満の進捗 ●実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値:各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
立地適正化計画を形成する市町村数 (建設部調)	目安値	市町村		0	0	0	7
	実績値		0	0	3	3	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き立地適正化計画の策定を予定している市町村に対し、広域的な観点からの技術的な助言や情報提供、計画策定への参画などを積極的に行います。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
小さな拠点形成数 (企画振興部調)	目安値	か所		0	4	16	40
	実績値		—	0	38	48 (全国10位)	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 拠点形成数は順調に推移していますが、拠点形成後の地域の暮らしを持続的に支える取組が必要です。今後は小さな拠点を含め、暮らしを支える取組や支援制度などの情報提供を行うとともに、地域振興局を核として市町村や地域住民の取組を支援します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域公共交通網形成計画を策定する市町村数 (企画振興部調)	目安値	市町村		4	8	12	20
	実績値		0	17	26	27	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 今後計画策定に取り組む市町村に対して、県は、市町村が設置する計画を策定する場に積極的に参加し、全県的・広域的な交通ネットワークとの整合を図る観点や、専門的な知識、事例等の情報を提供することで取組を支援します。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
道路構造物点検実施率 (建設部調)	目安値	%		31.8	55.2	78.7	100
	実績値		19.4	29.4	60.2	83.8	
	進捗区分			B	A	A	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 道路法の改正により全ての道路構造物の点検が義務付けられたため、目標を前倒して平成30年度で100%の達成を目指します。				

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
楽園信州空き家バンク物件登録件数 (企画振興部調)	目安値	件 (累計)		550	600	650	750
	実績値		—	1,078	1,337	1,657	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 未活用の市町村に対する呼びかけを通じ、物件登録数の維持・増加に取り組みむとともに、移住セミナーや相談窓口で空き家バンクを周知し利用者増加を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
定住自立圏形成数及び連携中枢都市圏形成数 (企画振興部調)	目安値	圏域		6	6	6	7
	実績値		4	7	7	7	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、圏域の形成や圏域の取組の強化・充実に向けた支援を行います。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
人口千人当たり消防団員数 (危機管理部調)	目安値	人		16.85	16.93	17.02	17.20
	実績値		16.77	16.84	16.83	16.78 (全国9位)	
	進捗区分			B	C	C	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 長野県の消防団員数は全国3位で、平均年齢も全国で最も若いですが、人口千人当たりの消防団員数は減少傾向にあり、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 女性消防団員を始めとする消防団員の増員に向けて、「信州消防団員応援ショップ」推進事業により地域の消防団員を支援とする意識の醸成など消防団充実強化支援事業を推進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域おこし協力隊員数 (企画振興部調)	目安値	人		165	219	230	240
	実績値		112	205	280	332 (全国2位)	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、研修会の実施や地域おこし協力隊サポートネットワークにおける情報共有等により、隊員の受入を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
人口千人当たり公民館での地域の担い手づくりに関する学級・講座参加者数 (教育委員会事務局調)	目安値	人		98	100	101	102
	実績値		97	98	100	101	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 生涯学習推進センターを中心に、地域住民の学習意欲の向上のため、市町村の公民館講座を企画運営する公民館主事の資質向上を図るなど公民館活動を支援していきます。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域づくり団体数 (企画振興部調)	目安値	団体		147	150	153	159
	実績値		144	144	144	144	
	進捗区分			C	C	C	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 新たに6団体が加盟しましたが、会員の高齢化等の理由により解散したため、6団体が退会し、目安値に達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 今後は、地域づくりの主体的な活動のすそ野を広げ、地域づくり団体の活動を更に活性化させるため、フェイスブックを活用した情報提供、研修・交流事業の実施などの支援を行い、地域づくりネットワークの活動の活性化による加盟団体の増加を図っていきます。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域スポーツクラブに登録している会員の割合 (教育委員会事務局調)	目安値	%		11.0	11.3	11.5	12.0
	実績値		10.8	9.9	10.1	9.9	
	進捗区分			C	C	C	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%を下回っているなど、県民の運動・スポーツに参加する習慣が定着していないことを背景に、目安値に達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 地域スポーツクラブの活動を充実させるとともに、2027年本県開催内々定の第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会への機運を醸成し、スポーツ無関心層を含め多くの県民が「する」「みる」「ささえる」などの形でスポーツに参加できる環境づくりを進めます。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
アーティスト・イン・レジデンス (※)による交流人口 (県民文化部調)	目安値	人		15,000	20,000	25,000	55,000
	実績値		15,000	13,535	25,748	435,945	
	進捗区分			C	A	A	
	【備考】 ※国内外から招へいする芸術家が、滞在中に作品の制作や展示等の活動を行うこと、またはそれを支援する取組	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) H29年度に開催した、北アルプス国際芸術祭(大町市)等の取組を参考として、県内他地域への普及を図ります。 ※H29年度実績値は、北アルプス国際芸術祭の来場者数(目標:50,000人)</p>				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
介護保険サービスを必要としない高齢者の割合(65～69歳) (介護保険事業状況報告(厚生労働省)をもとに健康福祉部算定)	目安値	%		97.7	97.7	97.7	現状維持
	実績値		97.7	97.7	97.7	97.8	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 引き続き、地域の介護予防事業に参画できるリハビリ専門職の育成などにより、介護予防の普及・促進に向けた市町村の取組を支援します。</p>					

指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	目標 (H29年度)
特定健診受診率 特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省)	目安値	%		53.7	57.8	61.8	70.0
	実績値		49.6	51.3	52.5	54.2 (全国7位)	
	進捗区分			C	C	C	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 市町村国保(45.2%：前年比+1.0%)、協会けんぽ(50.4%：同+4.6%)で増加したものの、健康保険組合・共済組合等(69.9%：同-0.5%)の減少もあり、実績値は伸びたものの、目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 保険者協議会と連携した統一キャンペーンや、「健康経営」の普及による企業の受診促進等に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
地域包括ケア体制整備に取り組む日常生活圏域数 (健康福祉部調)	目安値	圏域		104	130	155	全日常生活圏域
	実績値		125	150	155	155	
	進捗区分			A	A	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、地域ケア会議の充実を図るための研修の実施や専門職の派遣により、地域包括ケア体制の構築に向けた市町村の取組を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
入退院時の情報共有の仕組みが策定された二次医療圏数 (健康福祉部調)	目安値	圏		2	5	10	全二次医療圏
	実績値		0	2	4	10	
	進捗区分			A	B	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 全圏域で入退院時の情報共有の仕組みが策定されました。今後は策定したルールが定着するように、関係団体と協力して事業の促進を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H24年)	H26年	H27年	H28年	目標 (H30年)
人口10万人当たり医療施設従事医師数 医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	目安値	人		219	223	226	233
	実績値		211.4	216.8	—	226.2 (全国30位)	
	進捗区分			C	実績値なし	A	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き県内医療機関等との連携を図りながら、医師確保に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
人口10万人当たり就業看護師数 衛生行政報告例(厚生労働省)	目安値	人		1,224.7	1,227.1	1,229.5	現状より増加
	実績値		1,222.3	—	1272.9 (全国28位)	—	
	進捗区分			実績値なし	A	実績値なし	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 平成28年度に平成29年度の目安値を上回っており、順調に増加しています。 (今後の取組) 引き続き、新規養成数の確保、離職防止、再就職支援に取り組みます。 ※隔年調査のため、H27年、H29年は実績値なし					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
介護職員数 (健康福祉部調)	目安値	万人		3.6	3.8	4.0	4.2
	実績値		3.4	3.5	3.5	-	
	進捗区分			C	C	実績値なし	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 急速な少子高齢化に伴う介護保険利用者の増加と労働力人口の減少及び多くの産業において有効求人倍率が高い社会情勢から、目安値に達しませんでした。(平成27年度実績値から、厚生労働省による介護職員数集計方法変更の影響も受けています。)</p> <p>(今後の取組) 今後とも、福祉の職場説明会によるマッチングや資格取得支援等の取組により、新卒者、求職者をはじめとする多様な人材の入職と職場定着を促進します。</p>					